



Q 通学路の安全対策について

A 連携して安全確保に努めている

高橋 剣二 議員

質問一 登下校中の交通事故が発生しているか。

二 危険と、指摘されたり報告がある場所とその対策は。

三 学校、PTA、警察、行政の連携は。

四 いわゆる白線通学路の現状と対策は。

五 安全対策の今後の方向性は。

答弁一（教育委員長） 平成22年度から24年度2月末日まで、登下校中の交通事故は発生していないが、学校行事等に参加するため、学校以外の場所へ自転車で通学中の事故が23年度に1件、24年度に1件発生している。

二 危険と思われる場所が61か所報告された。整備が済んでいる場所もあるが、順次整備等を進め、児童生徒の安全確保に努めている。

三 保護者から得た情報を基に各学校が安全点検を実施し、必要に応じて警察の助言を受け、関係課と連携して対応している。

四 交通指導員の立しよ配置、スクールガードリーダーや学校応援団による安全確認を実施しているが、状況に応じ歩道整備、路面表示、注意看板の設置等を検討する。

五 学校と連携して定期点検を実施し、対応する。また保護者や地域の人の協力を得て、児童生徒の安全を確保していく。

Q

鶴ヶ島市障害者支援について

A

必要な見直しを図り支援していく

持田 敏明 議員

質問一 第2期障害者福祉計画からの課題は。

二 第3期障害者福祉計画について、進捗状況は。

イ 障がい者のスポーツへの取り組みは。

ウ 障がい者の雇用率向上の取り組みは。

組みは。

二 第3期障害者福祉計画について、進捗状況は。

イ 障がい者のスポーツへの取り組みは。

ウ 障がい者の雇用率向上の取り組みは。



二 **ア** 国の基本方針に基づき、三つの項目に目標値を設定し、目標に向かって順調に進んでいる。

イ スポーツに関する情報の提供相談や自主的にスポーツ活動ができるよう支援に努めている。

ウ 就労相談、就労訓練、企業との連携など障害のある人の就労支援に取り組んでいる。今後も公共職業安定所などの連携を推進し、障害のある人への就労を支援していく。

エ 国や県の負担金、補助金の確保などを求め、必要な財源の確保に努める。

◎その他の質問 市内公共交通事業について